モダン・ミリー（1966）

THOROUGHLY MODERN MILLIE

メディア 映画
ジャンル ミュージカル　コメディ
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　138分
初公開日 1967/06/01
公開情報 ＵＮＩ

【解説】

　いわゆる擬古曲趣味をやってやはりロイ・ヒルほど心得た御仁はいまい。黄色人差別まで２０年代のハリウッドに持ち込むことはあるまいに、との意見も多々あったようだが、それも約束ごとの範囲なので、見逃してやっていただきたい。タイトルで、カンザスの田舎娘のミリー（アンドリュース）がどんどん“モガ”になるのを見せる手練がまずよろしい。彼女はＮＹでよい職場を見つけ、あわよくば将来有望の上司の玉の輿に乗ろうと狙っている。宿のホテルでは最近向かいの部屋の娘が忽然と消えたが、よもや女主人のミアーズ夫人が洗濯屋に化けた手下を使ってさらったとは露知らない。その部屋にカリフォルニアの財閥出身の孤児ドロシー（ムーア）が入居して、何かと世話を焼くミリー。舞踏会で知り合った好青年ジミー（フォックス）は、社長の車やら飛行機やら持ち出してデートに誘ってくれるけど、ドロシーにも気があるみたいで少々妬ける。が、彼女は勤め先のハンサムな部長グレイトン（Ｊ・ギャヴィン、好コメディ・リリーフ？）にぞっこん。でも、彼もまた偶然紹介したドロシーに夢中になって、恋はままならない。そのうちドロシーが遂に女主人らの罠にかかり、売春組織のボスーーという女主人の正体を見破ったミリーらは、女装のジミーを囮にして奪還作戦にうって出るのだった。全編に横溢するスラップスティック感覚、字幕場面の挿入で内心の声を表現したりする遊び、ヴァン・ヒューゼン＝カーンによる四つの新曲の楽しさ。映画ミュージカルとしては久々の快打で、何より嬉しいのは、ジミーに誘われて遊びに行く富豪の未亡人Ｃ・チャニングの生き生きとしたキャラクター。曲芸に出たりして本当に人生を楽しんでいるのだ。彼女の唄も踊りも全くジュリーを喰ってしまった。

【クレジット】

監督	ジョージ・ロイ・ヒル	George Roy Hill	
製作	ロス・ハンター	Ross Hunter	
脚本	リチャード・モリス	Richard Morris	
撮影	ラッセル・メティ	Russell Metty	
編集	スチュアート・ギルモア	Stuart Gilmore	
作詞	サミー・カーン	Sammy Cahn	
作曲	ジミー・ヴァン・ヒューゼン	Jimmy Van Heusen	
音楽	エルマー・バーンスタイン	Elmer Bernstein	
	アンドレ・プレヴィン	Andre Previn	
	ジョセフ・ガーシェンソン	Joseph Gershenson	
出演	ジュリー・アンドリュース	Julie Andrews	ミリー・ディルマウント
	ジェームズ・フォックス	James Fox	ジミー・スミス
	メアリー・タイラー・ムーア	Mary Tyler Moore	ドロシー・ブラウン
	キャロル・チャニング	Carol Channing	マジー・ヴァン・ホスメア
	ジョン・ギャヴィン	John Gavin	トレヴァー・グレイドン

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ジャック・スー	Jack Soo	チンホー
パット・モリタ	Pat Morita	バンフー
フィリップ・アーン	Philip Ahn	ティー
アンソニー・デクスター	Anthony Dexter	ファレス
ビアトリス・リリー		ミアーズ夫人

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.